

北東アジア環境活動交流会 座長とりまとめ

前文

1. 北東アジア環境活動交流会が、2013年10月30日、富山市において開催された。会議は、富山県が主催し、北東アジア地域の4か国（日本、中国、韓国、ロシア）の7自治体（山形県、富山県、黒龍江省、江原道、忠清南道、沿海地方、ハバロフスク地方）が参加した。また、富山県内の環境NPO等の3団体（でんき宇奈月プロジェクト、森林総合支援センター、砺波市美術館）が参加した。

事例発表会

2. 参加している地方自治体から、各地方自治体における市民、学校、環境NPOなどと連携した環境保全活動について、事例発表があった。また、「でんき宇奈月プロジェクト」から、再生可能エネルギーを活用した活動について事例発表があった。

現地説明会

3. 参加者は、NPO法人森林総合支援センターの活動拠点に移動し、同センターから森林保全や環境教育等の取組みについて説明を受けた。また、砺波市美術館から、(公財)環日本海環境協力センターと連携して実施している漂着物アート制作体験会について説明を受けた。

意見交換会

4. 参加者は、事例発表会、現地説明会、意見交換会を通じて、環境NPO等の活動が地域に根差した実践的な環境保全活動を推進するうえで極めて重要な役割を担っていることを確認し、北東アジア地域の環境活動を効果的に推進するためには、地方自治体と環境NPO等の連携、協力を一層促進することが重要であることを認識した。

その一環として、北東アジア地域自治体連合環境分科委員会などにおいて、この地域における地方自治体と環境NPO等との連携、協力を促進するための交流活動等について、今後検討されることに期待を表明した。